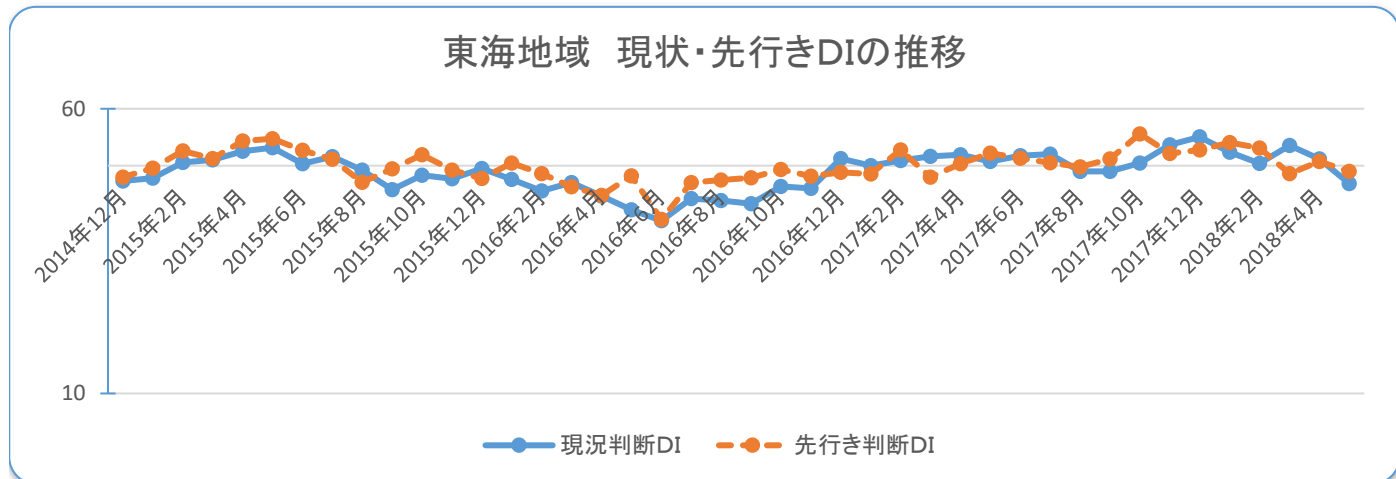


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年5月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》スイカや枝豆等が店頭に並び始め、買い求める客が多く見受けられる。この暑さで飲料関連も好調である。【スーパー（店員）】
		不変	《単価の動き》何となく株価は安定しているが、閉塞感と先行き不透明感があり、上昇心理に向っていない。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
		やや悪	《販売量の動き》セール商品はそれなりに動くが、それ以外の通常の商品の動きが悪い。おにぎりや弁当等主力商品の売上が減少しており、客単価も下落している。【コンビニ（エリア担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》型屋、下請依頼先等、軒並み忙しく納期遅れが生じている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》全世界的に自動車生産の設備投資需要が大きく、部材が不足しており、どのメーカーも納期が長くなってきているため、納期さえ早ければ価格は高くても購入したいという話が増えてきている。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	《取引先の様子》自動車産業等においては、今後の生産計画等も含め、例年より若干ではあるが良くないという話が多い。【金融業（従業員）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》求人数は増加しているが、求職者が減少している関係で、景気は上昇している。【職業安定所（職員）】
		不変	《求人数の動き》有効求人倍率は高水準で推移しており、人手不足の声が多く業種から聞かれている。生産、販売等好調な反面、原材料や燃料の高騰が利益を圧迫している。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《求人数の動き》新聞に掲載される求人数が極端に減少してきており、過去に例をみないほどである。【新聞社【求人広告】（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	店舗の品ぞろえを強化できるように抜本的な施策を6月以降実施する。夕夜間の米飯、ファーストフードや総菜類の品ぞろえを強化し改善する。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	高齢者の方による交通事故に関心が高まっている。誤動作防止装置搭載等の事故防止対策や運転疲労軽減装置等、車両買換えの客への切り口はたくさんあるが、まだ財布のひもは固く、景気が上向いてきたという言葉は聞こえてこない。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	介護保険サービスの福祉用具貸与において、全国平均単価をもとに貸与価格の上限設定がある。他の介護保険サービスと異なり、地域加算のない福祉用具貸与に、全国平均値で価格に上限を設けるのは納得し難い。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	直近で燃料代が1リットル当たり2円程度上昇したが、個人消費の動向には全く影響がないとみている。家族に就職、進学に伴う移動があり、新居契約や家電購入等、二重生活に因る支出を余儀なくされている。ただし、これらは人材への先行投資として理解している。【通信業（総務担当）】
		不変	仕事量の心配は減っているが、受注価格が安い上、原材料は値上げされており、利益につなげるのが課題である。【金属製品製造業（従業員）】
		やや悪	景気が良くなるような材料がない。やはり中小企業にはまだまだ厳しい。【出版・印刷・同関連産業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	自動車産業において、7月以降徐々に生産数の増加が予想される。そのため、雇用者を確保する動きもみられる。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	求人数は高水準を維持しているが、非正規社員が多く、正社員の割合は低下を続けている。【職業安定所（職員）】
やや悪		原油高が、雇用や経済に影響を及ぼすものと考えられる。【職業安定所（次長）】	